

昭和47年1月～平成30年12月までに

当センターにおいて病理検査をお受けになった患者さんとご家族の方へ

(1) 研究の概要について

当センターでは「**神経内分泌腫瘍におけるテロメア異常の検討**」を実施しております。

神経内分泌腫瘍は、膵臓、消化管、呼吸器などの様々な臓器に発生し、ホルモンの産生や遠隔転移を来すことがあるため、手術や抗腫瘍薬などの治療が必要となります。神経内分泌腫瘍は稀な腫瘍であるため、その原因や進行の仕方、治療方法について不明な点が多く残されています。

神経内分泌腫瘍の原因となる遺伝子の異常によって、テロメアと呼ばれる染色体の保護装置の異常が起こることが報告されています。東京都健康長寿医療センターではこれまでに様々な腫瘍でのテロメアの異常について研究を行ってきました。そこで、本研究では、神経内分泌腫瘍のテロメアの異常を調べます。本研究では、病理診断のために採取された検体をいいますので、新たに検体を採取することはありません。病理検体での変化と、血液検査、放射線画像検査との関わりなどについて解析します。

具体的には昭和47年1月～平成30年12月までに東京都健康長寿医療センター（旧養育院附属病院、東京都老人医療センターを含む）で病理検査（手術、生検、解剖を含む）をお受けになった患者さんを対象としています。また本研究は患者さん一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって患者さん皆さんからのご同意を頂いたものとみなさせていただきます。なおこの研究における患者さんの費用負担や謝礼などはございません。

本研究は、東京都健康長寿医療センターと東京医科歯科大学大学院。医歯学総合研究科・包括病理学、順天堂大学医学部・人体病理学講座との共同研究で実施します。研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名：「**神経内分泌腫瘍におけるテロメア異常の検討**」 「承認番号：R18-42」

研究期間：西暦2019年2月8日から西暦2021年3月31日

研究責任者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・医長・松田陽子

研究分担者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長・新井富生

東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・研究部長・石渡俊行

東京医科歯科大学大学院・医歯学総合研究科・包括病理学・助教・木脇祐子

順天堂大学医学部・人体病理学講座・准教授・福村由紀

(2) 研究の意義・目的について

神経内分泌腫瘍の病態が明らかになれば、よりよい医療の提供、食生活の指導に役立てられ、健康の促進につながることを期待されます。

(3) 研究の方法について

通常、病理検査で提出された検体は診断に用いられます。我々は、この診断が終わった検体について研究を行います。具体的には、病理検査に提出された膵臓やその他の臓器の検体を用いて、病理組織学的な変化を解析します。カルテから臨床情報（年齢、性別、病理診断、疾患名、転帰、既往歴、嗜好、家族歴、一般血液検査、尿検査など）を調べます。放射線画像検査結果から、腫瘍やその他の臓器の変化を調べます。病理組織学的な変化と臨床情報、各種検査、放射線画像検査との関連を解析します。また、各年齢層毎の変化や疾患の有無について解析し、加齢に伴う変化と疾患との関わりを明らかにします。

(4) 資料の保管と、他の研究への利用について

病理部において検体を管理している以上、厳密な意味での匿名化は困難と考えられますが、実験を行う際には検体を個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、本研究によって患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後10年間保管します。保管場所については東京都健康長寿医療センター病理診断科における所定の本棚において施錠可能な状態で保管します。

(5) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科の問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科 松田陽子

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2 電話 03-3964-1141 内線 2413 (平日 9:00~17:00)